

2008年4月24日 リレー講座 アンケート結果 1

このような学問があるのをはじめて知った

スクリーンにうつっていた中から次の格言をありがたういただいて帰ります
「短い人生は時間の浪費によっていっそう短くなる」

図解することの意味がよく分かった。大変よい講演で楽しかった

多くの人に普及させて下さい

「鳥の眼」と対応する「虫の目」はどう図解と結びつくのかに触れるとありがたい

ここまでカンタンに解ったつもりになって良いのでしょうか。これを機に深く読む人になれたらと願ってます

考える能力を向上させるための栄養素が必要ではないか

今後も意識的にこのやりかたにこだわって生きていきたい

1日1図の様に仕事を図解で考えていこうと思います

人間は常に栄養(知識・教養)をあらゆる事象から吸収している。吸収した栄養から集中と選択→考える能力の向上の図式となると思うのですが、如何でしょうか

その道の専門家でないからできる意味ある図解。まさに目かウロコであった

韓非子の理論はinstitutional economicsに似ていますね

「発想」の根源に示唆をいただいた。"ITは「考える」手立てにはなるが、「考える」もとにはなりにくい" そのとおりと思います。

図解の重要性を良く認識できた

テキストの本質の把握方法として自分なりに試みていたことが、ここまで洗練された技法として確立されていることに感心しました

大変面白かった。筑摩新書のWeb進化論を是非読みたい

本質を押さえるというのはその通り。ただ、図解の過程で情報は落ちる(落とす)、その加減が難しいと思いました

リタイア後の自己のポジションについての分析を怠っていることを自覚した

図を見ながら解説されてはじめて納得できると思うので、説明する力、言葉力も大切だと思いました

「考えることとは“図”にすること→ある程度理解出来ました

これからは自分が箇条書きにしたものをきちんと図解できるようにしていきたいと思いました

読んだ本を図解にし、全体を理解する手法は良かった。

70歳の私ですが、またやることができました。楽しいぞ!! ありがとうございました。

2008年4月24日 リレー講座 アンケート結果 2

具体的ノウハウ=どうすれば図解がうまくできるのかが少しでも示されないと、実際には図解を自分で行うことはかなり難しいと思う

先生の考察による分析図型化が欲しかった気がします

先生が団塊の世代の代表者であるように思いました

時間が少ない

世界は図解思考により、変わるかも変えられるかもしれません

図での整理の面白さに納得

もう少し訓練してみたい

知識が沢山あるのは邪魔、社会には問題ばかり転がっており、解決のたびに能力が向上するのお言葉には100%共感しました

学生と社会人が一緒に話をきくのは、若者にとって将来がみえるチャンスであろう。
グローバルズムの実践ともいえるこの試みに拍手！
老人にとっては頭の刺激になって有難い！

期待以上の内容でした。著作を拝見致します

図示の方法は2次元ですが、3次元も工夫されるといいのではないのでしょうか

私は契約書の翻訳をやっていますが、必ず図解をします

お話しが若々しくて力が頂けました

これからの思考法として取り入れたい

まず、今の自分の立ち位置を何枚か書いてみようと思います

リレー講座のおかげで久恒先生につながって、まさに眼からウロコの授業でした

メモは大切だなと、とても思いました

名著の図解は少々乱暴かも知れないが、まず自分では手にしない本であるし、単に歴史の文化的事項としてしか知らなかったから、大いに重宝でした

早速取り組みたいテーマを实践してみたい

久恒先生の若さとエネルギーに驚きました

久恒啓一先生のお話はまったく発想が豊かで、その底辺は現場熟知のもとに展開されているので興味をいただきました

講義の中に時々ユーモアも入れていたから、聞きやすかった

図解を勉強してみようかなと思いました

先生はいつ哲学的瞑想をなさるのか興味をもちました。これだけお忙しい中をいつご自分の考えを深められるのかエネルギーだと思いました